



久慈年和  
(市民連合クラブ)

### 仲よし会の職員配置基準

### 緩和への対応は

### 従来通りの職員体制を維持する

**議員** 仲よし会の職員の配置は、1クラスに常時2人以上必要とされている。しかし基準を緩和して1人としてもよいこととする児童福祉法の改正が来春施行される。子供の安全確保等に懸念があるが、市の見解は。



免許を返納しても支障のない環境を

### 議員 運転免許を自主返納する高齢者への支援状況は。

**民生部長** 65歳以上の自主返納者への支援として、商品券、バス券、タクシー券のうち希望する1万円相当のものを交付しています。昨年度は60代12名、70代71名、80代89名、90代5名の計177名から申請がありました。

**副市長** 仲よし会は、利用する子供の安全を確保すること、保護者が安心して子供を預けられることが第一と考えています。また働く職員の負担の大きさを考慮することも必要です。このことから、今後もこれまで通り、1単位に対して2人以上の配置を維持したいと考えています。

### 議員 今後の支援は。

**市長** 十分な公共交通がないと家用自動車が必要となりますので、市街地循環バスや予約制乗り合いタクシーの運行による公共交通の利便性の向上等、返納しやすい環境づくりに取り組めます。

**議員** 自主返納者に複数年支援する考えがないようだが、これから本格的に始動する市街地循環バス等の運賃を無料にする考えは。

**企画財政部長** 支援制度の促進のため、今後の市街地循環バスの本格運行にあわせて、公共交通の利便性の向上とともに無料化を検討したいと考えています。

## 十和田湖周辺地区の観光事業のあり方は 各地区の役割等を整理し取り組む



石橋義雄  
(自民公明クラブ)

### 議員 休屋・宇樽部

・子ノ口・奥入瀬溪流の観光の将来展望は。

### 農林商工部長

各地区の役割や特徴づけを次のように整理して観光振興に取り組めます。休屋：広域交通を受け止める拠点、滞在・宿泊の場所、十和田信仰など歴史に触れられる場所

宇樽部：十和田湖地域内の交通拠点、アクティビティや地域の食を楽しむ場所

子ノ口：十和田湖と奥入瀬溪流の中継拠点、湖畔からの景観を楽しむ休息場所

奥入瀬溪流：地域特有の自然・四季・景観等を静かな環境で鑑賞し楽しめる場所

**議員** 馬事公苑や鯉ヶ郷等に観光客を十分誘導していないのではないかと。市内の観光コースの考え方は。

**農林商工部長** 十和田奥入瀬観光機構の観光資源開発、インバウンド対策等を支援し、観光コースの充実と魅力向上を図ります。

**議員** 幻の穴堰等の三本木原開拓施設群の利活用と近代化遺産指

定の考え方は。

**教育部長** 学校の郷土

学習や生涯学習の場で活用を図っていますが、認定条件を満たすのは厳しいと考えています。

**議員** 当市は新紙幣の肖像となる渋沢栄一、津田梅子、北里柴三郎にゆかりがあるが、どう情報発信するか。

**農林商工部長** 外への情報発信とともに、地元観光事業者が人物情報を伝えられるようにすることや、十和田奥入瀬観光機構と連携して観光メニューの中に取り入れていく等、活用策を探りたいと考えています。



馬事公苑を観光資源に